

**【報告】平成30年9月 台風24号がもたらした大雨による
徳山ダム防災操作について**

平成30年9月29日から10月2日にかけて台風24号がもたらした大雨による徳山ダムの防災操作の状況についてお知らせします。

1. 徳山ダム上流域の降雨等の状況

台風24号がもたらした大雨は、徳山ダム地点において9月29日（土）未明から降り始め、降雨が収まった10月1日（月）朝までの間に約176mmの降雨がありました。

9月30日午後11時班頃、徳山ダムへの流入量が最大572.89 m³/s を記録しました。

2. 徳山ダムの防災操作

徳山ダムでは、貯水池に流入する水量が毎秒200立方メートルを超えた9月30日（日）午後8時50分から水量が毎秒200立方メートルを下回った10月1日（月）午前7時20分までの間、全量をダムに貯留し、揖斐川下流の洪水を低減しました。

具体的な降雨と防災操作の状況は、別図を参照下さい。

洪水調節した水量

貯留した水量 1, 283万立方メートル

貯水位の上昇 1.3m

最高水位 標高391.25m

3. 洪水調節後の放流の再開

10月1日（月）未明から降雨が収まり貯水池に流入する水量が低減したことから、次の洪水に備えるため、今般の洪水調節で貯留した水は、揖斐川の下流の状況を確認しながら、10月1日（月）午前9時から放流を再開し、同日午後12時40分から10月2日（火）午後17時までの間、洪水吐きからの放流を行いました。

平成30年9月 台風24号がもたらした大雨による徳山ダム防災操作の状況

【平成30年9月29日(土)～】

